

C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議（第11回）
議事要旨

日 時：令和3年3月25日（火）14：00～14：15

場 所：官邸4階大会議室

出席者：岡田 直樹	内閣官房副長官
和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官
長谷川 貴彦	内閣官房内閣審議官
丹菊 将貴	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官
逢阪 貴士	警察庁長官官房会計課長
馬場 竹次郎	総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）
花村 博文	法務省大臣官房施設課長
山崎 雅男	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長
森 晃憲	文部科学省高等教育局私学部長
鈴木 健吾	厚生労働省子ども家庭局子育て支援課長
堀内 斉	厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害保健福祉担当）
間 隆一郎	厚生労働省大臣官房審議官（医政、医薬品等産業振興、精神保健医療担当）
浅川 京子	林野庁次長
江澤 正名	資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課長
下野 浩史	国土交通省大臣官房官庁営繕部長
和田 信貴	国土交通省住宅局長
白石 隆夫	環境省大臣官房審議官（総合環境政策統括官グループ、地球環境局等担当）

1. 説明内容

C L Tの普及に向けた新ロードマップ、「C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議幹事会の開催について」の一部改正、C L T特別アドバイザー・C L T広報大使について、長谷川内閣審議官より資料に沿って説明があった。

2. 出席者からの主な意見

副議長である和泉内閣総理大臣補佐官より以下の発言があった。

- ・認知度が低い、コストが高いなどといった課題に対して、関係省庁で協力して取り組んでほしい。
- ・認知度に関しては、2025年の大阪・関西万博でのC L T活用を促すことによって非常にアピールできるため、こちらも関係省庁で協力して取り組んでほしい。

議長である岡田副長官より以下の発言があった。

- ・本日の会議では、C L T活用促進に向けた来年度から5カ年間の新たなロードマップがとりまとめられた。
- ・本ロードマップの策定にあたっては、川上から川下までの幅広い関係団体の代表者の方々に議論に参画いただいたほか、様々な有識者等への意見の聴取も行われた。
- ・こうした様々な視点からの意見も反映させながら策定された新ロードマップは、従来

から進めてきた公共建築物における活用、建築基準の合理化等の施策に加えて、SDGs等への寄与の「見える化」、CLTパネルの寸法等の規格化の推進、さらには設計者への一元的サポートの推進といった新たな施策も数多く盛り込まれ、充実した内容になっている。

- ・現在のロードマップが策定されてからこの4年間で、CLTを活用した建築物の竣工件数が5倍を超える伸びになることが見込まれているが、林業・木材産業の活性化による地方創生の推進やまた2050年のカーボンニュートラル及びグリーン社会の実現に向けて、CLTのさらなる利用拡大を進めることが重要と確信をしている。
- ・関係省庁におかれては、本日策定されたCLTの普及に向けた新ロードマップに沿って、一丸となってCLTの普及に向けて積極的に取り組むよう御尽力いただきたい。

以上